



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき克俊

事務所 品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674

2008年11月9日 No.639

日本共産党品川区議団ホームページ <http://www.jcp-shinagawa.com/>



品川区
長期計画

環境都市に逆行...

廃プラ焼却、巨大ビルでCO₂増大

写真は、06年3月に完成した品川清掃工場



品川区の今後10年間の長期計画(案)は、「次代につながる環境都市」をスローガンにして環境対策に取り組むとしています。しかし、「国際都市品川」を看板にして巨大ビルの大規模開発をさらに拡大するのは、CO₂排出を増やし温暖化を加速します。

地球の温暖化防止は全人類の
焦眉の課題です。千代田区など
自治体独自の企業のCO₂排
出規制も広がっています。

それでは、品川区の長期計画
(案)で地球温暖化対策はどうなっ
ているでしょうか——「次代に
つながる環境都市」を目指す都市
像に掲げ、①限りある資源の有
効活用と新エネルギーの導入、
②温室効果ガスの削減、③ごみ
の減量とリサイクル推進、④産
学公協働のヒートアイランド対
策の研究実証事業推進——などに
取り組む方針です。

しかし、一方で巨大ビル建設
をすすめる、プラスチックごみを
焼却してCO₂を大量に排出す
るする——これでは「次代につな
がる環境対策といえません。

廃プラを燃やして売電

「地球環境を守る」は本気？

品川区はプラスチックごみを焼却することに転換しました。その熱で発電した電気を売る(注)というのです。温暖化ガス(=二酸化炭素・CO₂)を大量排出して金儲けとは、環境対策が根本的に間違っています。

品川区は、今年10月からプラスチックごみの扱いを切り替えました。きれいなプラスチックは資源としてリサイクル、汚れは限りある資源を有効活用し、新

エネルギーを導入するということでしょうか。

区は高性能の焼却炉でダイオキシンは出ないので「一石三鳥」だといいます。しかし、石油からできているプラスチックを燃やせば多量の二酸化炭素(CO₂)を排出します。しかも、高温の焼却炉内は様々な化学変化がありダイオキシン、カドミウムや鉛など重金属、化学物質の汚染も心配されています。温暖化を防止し、地球環境を守ることにが大問題になっているときに、廃プラ焼却は逆行です。しかも、売電で金儲けとは本気で温暖化を防止しようという姿勢ではありません。

(注) 23区と東京ガスが共同

出資してつくった新会社が、廃プラスチックを焼却し、その熱で発電した電気を売る事業を始めます。年間4億円程度の利益を見込んでいます。



ゲリラ豪雨の原因に… 巨大ビルも環境破壊

いま、ゲリラ豪雨が大問題になっています。ヒートアイランドの都心部で高層ビルにぶつかった風が上昇気流となり、短時間で積乱雲を形成し集中豪雨を発生させるといわれています。今後、臨海部で建設される巨大ビルが風下の品川区で豪雨を多発させると指摘する科学者もいます。

長期計画(案)は、大規模開発を推進する方針です。人口排熱と車の流入でCO₂を増加させ、環境を破壊する大規模開発はやめるべきです。もっと緑化をすすめるべきです。

長期計画(案)に意見をだそう

長期基本計画案(全文)をご希望の方は区役所にお問い合わせください。

また、品川区ホームページにも掲載されるほか、地域センター、図書館、区役所の区政資料コーナー、企画財政課

などで閲覧できます。

意見募集は11月10日まで意見の応募は、広報についている封筒をご利用ください。手紙やファックス、メールでも受け付けます。



無料
法律相談
は
11月14日(金) Pm 6:30
みやざき克俊事務所



都営住宅入居募集

11月13日(木)までです。